

# 島田市有機農業実施計画

## 1 市区町村

島田市

## 2 計画対象期間

令和7年度から令和11年度

## 3 対象市区町村における有機農業の現状と5年後に目指す目標

### ア 有機農業の現状

本市は、静岡県ほぼ中央部、大井川の中流域に位置し、東海道の宿場町として栄えてきた。平成17年5月5日に大井川の西岸に位置する旧金谷町と、平成20年4月1日には大井川の上流部に位置する旧川根町と合併し、現在に至る。

現在（令和6年3月末現在）、人口95,218人、世帯数39,451戸、総面積は315.70㎢と南北に長い地形となっており、山林が約3分の2（200㎢）を占めている。

また、JR金谷駅を始点としてSLで有名な大井川鉄道が走り、さらに、南部では富士山静岡空港があり、交通の要衝として高い利便性を確保している。世界一長い木の橋「蓬莱橋」が有名である。

気候は、年間平均気温16℃、年間降水量2,300mm前後となっており、冬期においても降雪がほとんどない温暖多雨な気候であるため暮らしやすく、また、作物の生育にも適している。

本市において、有機農業に取り組んでいる農家数（環境保全型農業直接支払交付金対象者）は令和5年度現在23経営体、市内の総農家数に対する割合は0.9%となっている。また、有機農産物全体の栽培面積は、令和5年度現在で42.36ha、市内経営耕地面積は2,123ha（2020年農林業センサス）であり、その割合は約2%である。栽培品目は、茶がその多くを占めており、次いで水稲となっている。

### イ 5年後に目指す目標

#### 「持続可能な農業の実現」

- ① 環境負荷を減らした農業
- ② 農業を次世代へ継承するため、収益性の向上
- ③ 市民の理解と関心を増進させ、有機農業を支える

本市における有機農業の目指す姿は、持続可能な農業の実現であり、これは、環境負荷を減らしつつ、次世代へ継承するため収益性の向上を目指すほか、オーガニックビレッジとして市民が有機農業に対する理解と関心を深め、消費において、有機農産物をはじめとした環

境負荷低減に資する農産物等を選択するなどして、支えていくものである。市内有機農産物の生産から消費まで一貫したサイクルの確立を目指し、生産者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き込んで推進するモデル的先進地区となるよう、有機農業産地づくりを進めていく。

茶に関しては、海外需要が堅調であることから、県事業である拠点化計画の推進等、輸出拡大に向けた取組の実施をするほか、補助金支援等により、有機茶生産・流通体制の構築に向けた取組を行う。また、国内外に有機茶の魅力を発信し、さらなる需要の拡大を目指す。

茶以外の有機農産物においては、有機農業の生産拡大を効果的に進めていくため、重点作物として水稻を設定し、生産者の確保及び面積の拡大を進めていく。

また、消費に関しても、イベントとしてオーガニックマルシェを開催するほか、市内で有機農産物を取り扱う販売所や小売店が限定的であることから、関係団体等と連携し、市内スーパーや直売所等に有機農産物コーナーの設置に向け、話し合いを進める。また、学校給食における有機米の導入に併せて食育授業を展開するほか、有機圃場での農業体験等を実施し、消費者が有機農産物に対する理解を深め、消費者が自ら選択する方策を講じていく。

令和6年度に策定する有機農業実施計画を基に、茶を中心とし、水稻などのその他有機農産物も合わせ、生産から加工・流通、消費のサイクル体制の整備を目指す。

#### ○有機農業実施面積の拡大

品目	令和5年度	令和11年度
全体	42.36ha	75ha
茶	35.27ha	65ha
水稻	6.47ha	9ha

#### ○有機農業者数の増加

	令和5年度	令和11年度
有機農業者	23 経営体	35 経営体

## 4 取組内容

### ア 有機農業の生産段階の推進の取組

#### 有機茶生産・流通体制の構築

県事業である拠点化計画は、輸出拡大を図るため、輸出生産拠点化に取り組む茶業者に対し、有機茶や碾茶用の輸出需要に適する品種・栽培体系転換への助成や、輸出生産拠点への支援をするものだが、この計画の推進に本市としても支援をする。また、生産者、茶商、JAとともに、市内で生産された有機茶の流通体制を構築し、海外輸出拡大に向けた取組みについて検討していくほか、補助金支援として、有機JAS認証経費の補助や、有機茶・碾茶に適した品種の茶樹改植に対する補助等を実施し、併せて、栽培技術研修会の開催、先進地視察等を実施していく。

また、再生可能な荒廃農地を活用した有機茶栽培の推進について検討し、進めていく。

#### 有機茶需要の拡大

有機茶においては、国外への輸出拡大のほか国内での需要の拡大を図るため、消費者に向け積極的なPRを行う。

#### 有機栽培米の拡大

水稲の有機栽培について、オーガニックビレッジ推進協議会内に有機栽培実践者を中心とした「水稲チーム」を組織する。栽培講習会などの実施により、新規就農者の確保や慣行栽培から有機栽培への転換を推進し、有機米栽培者の育成、面積拡大を目指す。

### イ 有機農業で生産された農産物の流通、加工、消費等の取組

#### 有機茶の販路拡大

輸出向けの商談会への出展等の支援をし、島田市産の有機茶の需要について現状を把握するとともに、販路拡大に向け推進を図る。

#### 有機農産物消費拡大

有機農産物の消費拡大に向け、関係団体等と連携し、市内スーパーや直売所等への有機農産物コーナーの設置に向けた話し合いを進めるほか、マルシェ等を開催し、有機農産物の理解、推進に繋げ、消費拡大を図る。

#### 市民への理解促進

市民が有機農産物を選択する第一歩として、学校給食へ導入することにより、児童・生徒・保護者の有機農業に対する正しい理解と関心を深める。また、安定的な消費先を確保する。

#### 有機圃場での農業体験

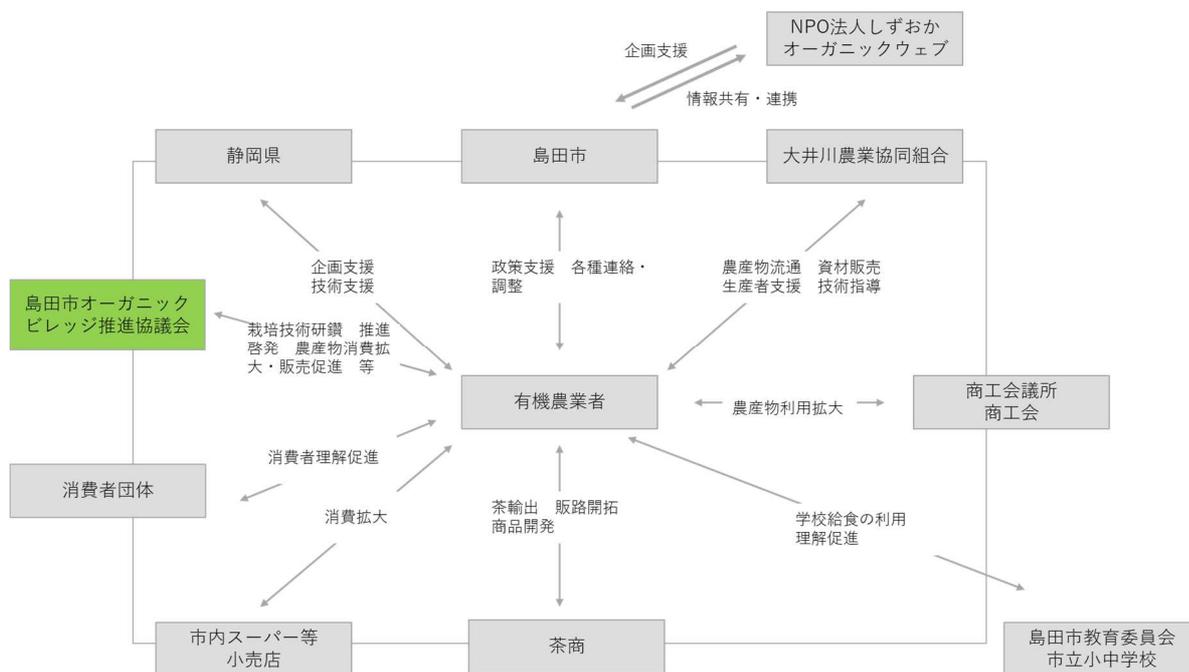
市民を対象に、有機圃場での農業体験会等を開催し、体験を通し環境や農業への関心を高めるとともに、栽培にかかる手間や苦勞を知ることにより、有機農業への理解を深める。

#### 消費者への有機農業についてのPR

有機農業についてのチラシやパンフレットの作成・配布及びSNSを活用した有機農業のPRをすることで、消費者の有機農業に対する理解を深め、有機農産物の消費拡大に繋げる。

## 5 取組の推進体制

### ア 実施体制



### イ 関係者の役割

#### 有機農業者

担い手の確保、取組面積の拡大、有機栽培の実践や試行的取組の実施、販路開拓、有機農産物のPR、スマート農業技術の導入

#### 茶商団体

有機栽培茶の輸出、販路拡大、商品開発

#### 大井川農業協同組合

農業者に対する技術的支援・情報共有、流通経路の確保、新規就農者への支援、有機肥料・有機資材の販売、有機栽培への転換支援に関すること

#### 島田商工会議所・島田市商工会

市内飲食店との連携、消費拡大に関すること

#### 消費者団体

有機農産物のPR及び消費拡大に関すること

#### 市内スーパー等小売店

有機農産物のPR及び消費拡大に関すること

## 教育委員会・市立小中学校

学校給食における有機農産物の導入を見据えた、有機農産物の利用や、児童・生徒、保護者の有機農業に関する知識の普及及び意識の醸成

## NPO法人しずおかオーガニックウェブ

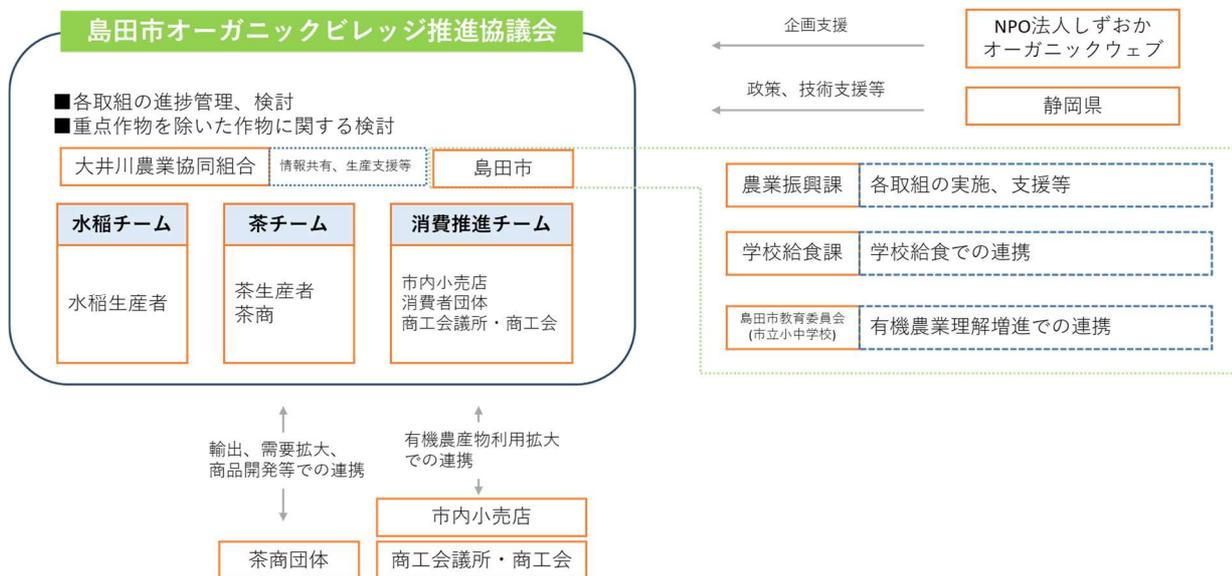
企画支援に関すること

## 行政機関（静岡県・島田市）

「島田市有機農業実施計画」に基づく事業に必要な事務・政策支援に関すること

## 島田市オーガニックビレッジ推進協議会

以下のとおり



## 6 資金計画

別紙のとおり

## 7 本事業以外の関連事業の概要

島田市は環境保全型農業直接支払交付金取組団体を通じて、生産者に対する支援を行っている。基幹作物である茶をはじめとして、水稻や果樹等、様々な品目が支援の対象である。また、より効率的かつ安定的な農業推進のため、静岡県の助言を受けながら市内の各地域において農地基盤整備を推進している。

8 みどりの食料システム法に基づく有機農業の推進方針について

静岡県と共同で基本計画を策定し、本計画に沿った推進を図る。

9 その他

## 6 資金計画

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
区分	<b>1 検討会の開催</b> <u>283 千円</u> <b>2 生産の取組</b> <u>9,329 千円</u> (内訳) ・有機 JAS 認証経費補助金 ・先進地視察 ・栽培技術研修会 ・環境保全型農業直接支払事業費補助金 ・有機転換事業費交付金 ・戦略的茶改植補助金 ・残留農薬検査経費補助金 ・GAP 認証取得経費補助金 <b>3 流通・加工、消費等の取組</b> <u>6,000 千円</u> ・商談会出展 ・オーガニックマルシェ開催 ・有機栽培農業体験の開催 ・学校給食への有機農産物の導入 ・有機農業に関する授業	<b>1 検討会の開催</b> <u>100 千円</u> <b>2 生産の取組</b> <u>11,700 千円</u> (内訳) ・海外輸出拡大支援 ・栽培技術研修会 ・有機 JAS 認証経費補助金 ・環境保全型農業直接支払事業費補助金 ・有機転換事業費交付金 ・残留農検査経費補助金 ・GAP 認証取得経費補助金 <b>3 流通・加工、消費等の取組</b> <u>2,900 千円</u> ・商談会出展 ・オーガニックマルシェ開催 ・学校給食への有機農産物の導入 ・消費 PR (SNS、パンフ等配布)	<b>1 生産の取組</b> <u>10,100 千円</u> (内訳) ・有機農業の普及 ・海外輸出拡大支援 ・有機 JAS 認証経費補助金 ・環境保全型農業直接支払事業費補助金 ・有機転換事業費交付金 ・残留農検査経費補助金 ・GAP 認証取得経費補助金 <b>2 流通・加工、消費等の取組</b> <u>1,000 千円</u> ・オーガニックマルシェ開催 ・学校給食への有機農産物の導入 ・消費 PR 活動	<b>1 生産の取組</b> <u>11,000 千円</u> (内訳) ・有機農業の普及 ・海外輸出拡大支援 ・有機 JAS 認証経費補助金 ・環境保全型農業直接支払事業費補助金 ・有機転換事業費交付金 ・残留農検査経費補助金 ・GAP 認証取得経費補助金 <b>2 流通・加工、消費等の取組</b> <u>1,000 千円</u> ・オーガニックマルシェ開催 ・学校給食への有機農産物の導入 ・消費 PR 活動	<b>1 生産の取組</b> <u>12,000 千円</u> (内訳) ・有機農業の普及 ・海外輸出拡大支援 ・有機 JAS 認証経費補助金 ・環境保全型農業直接支払事業費補助金 ・有機転換事業費交付金 ・残留農検査経費補助金 ・GAP 認証取得経費補助金 <b>2 流通・加工、消費等の取組</b> <u>1,000 千円</u> ・オーガニックマルシェ開催 ・学校給食への有機農産物の導入 ・消費 PR 活動
合計	15,612 千円	14,700 千円	11,100 千円	12,000 千円	13,000 千円

※4の取組内容に記載されているが資金計画に反映されていない予算については今後調整する。